

大地の芸術祭・瀬戸内国際芸術祭事例報告

2016.4.15

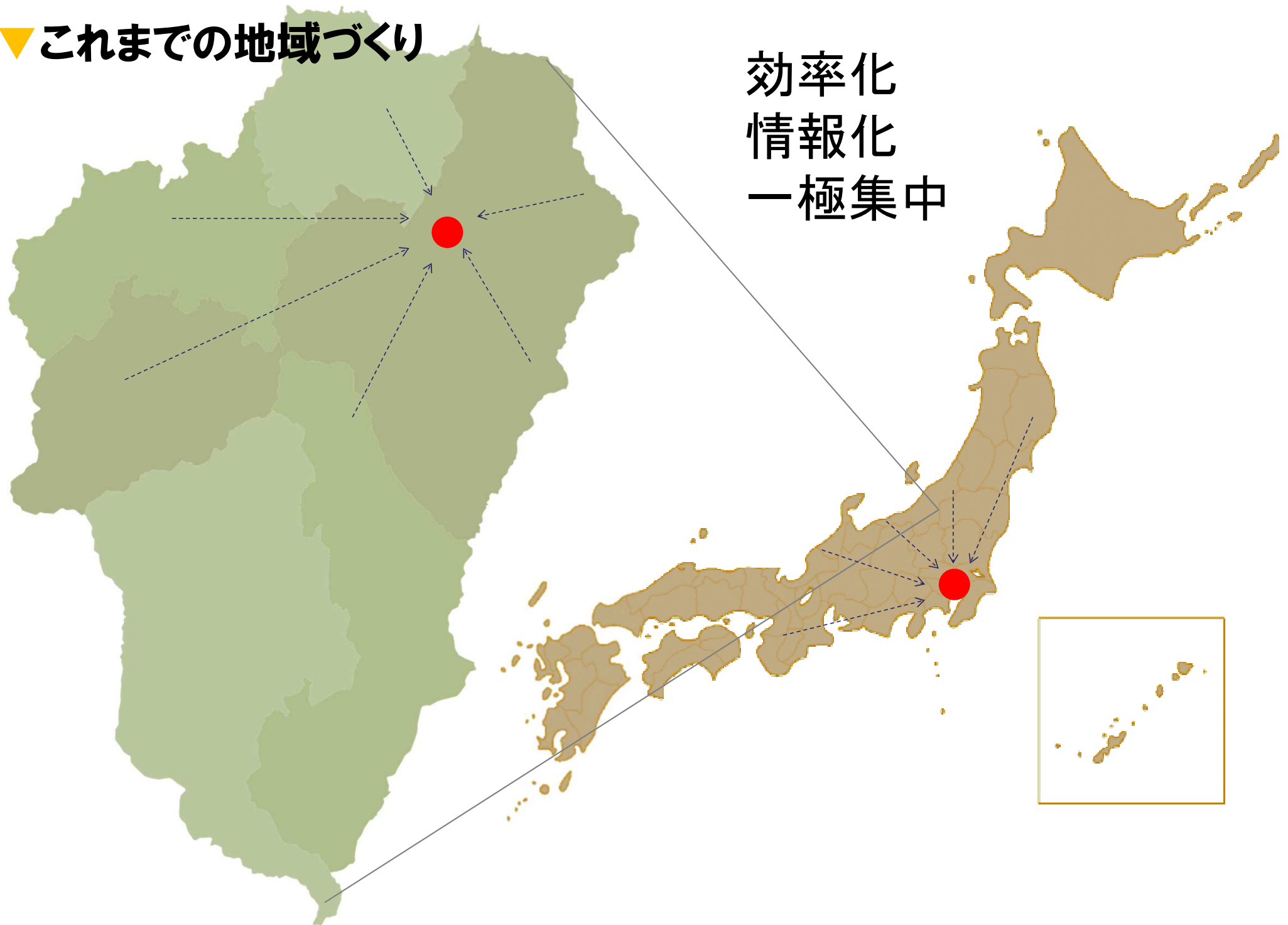
北川 フラム

大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ



▼これまでの地域づくり

効率化
情報化
一極集中

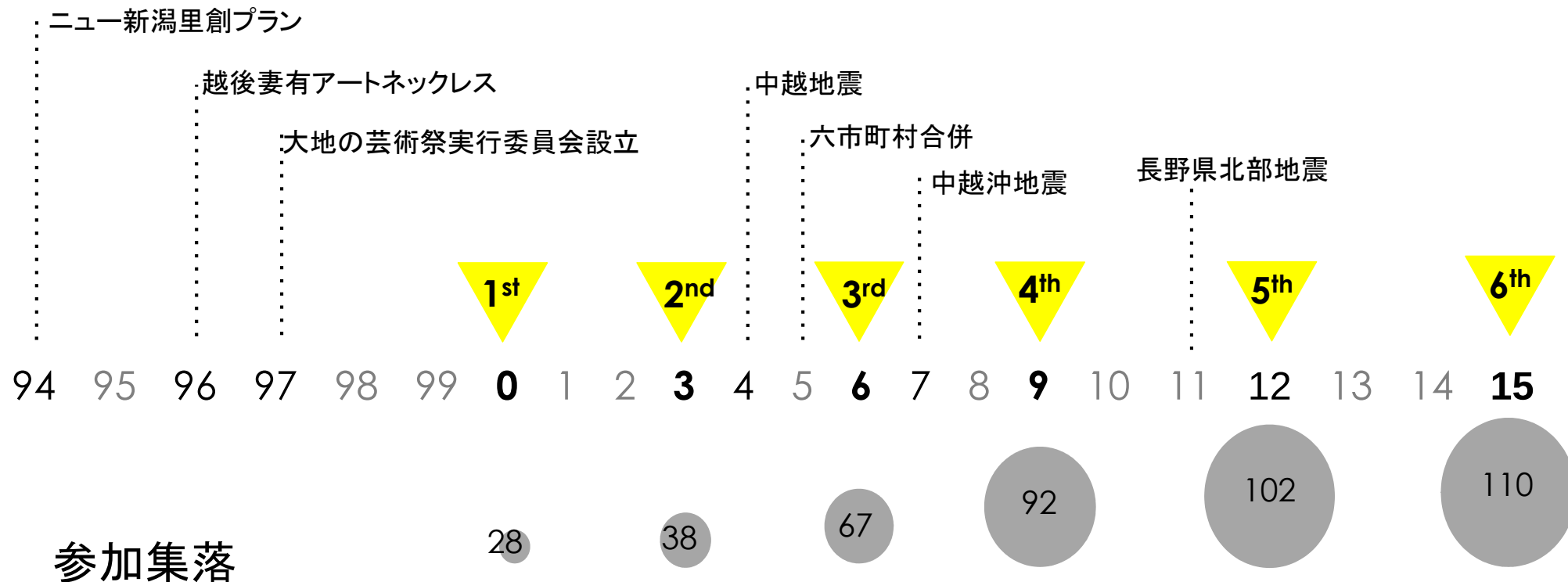




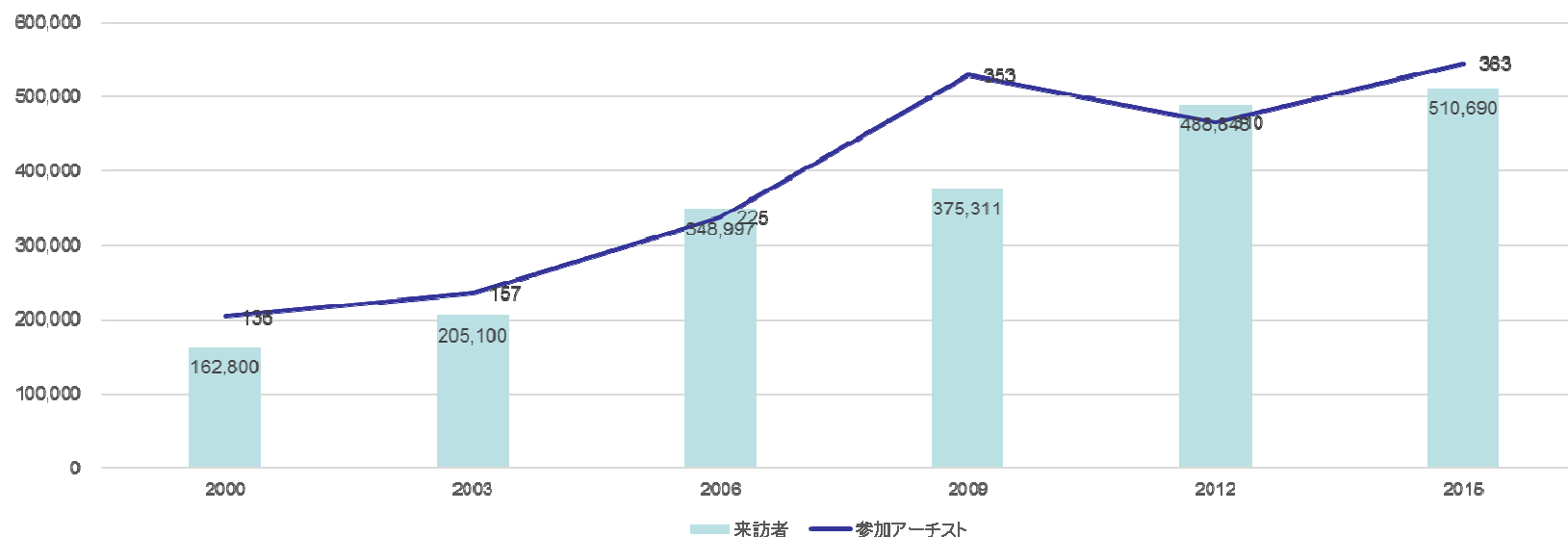
これまでの取り組みで できたこと

- 地域と現代の美術
- サイトスペシフィックな美術
- 廃校、空き家の活用

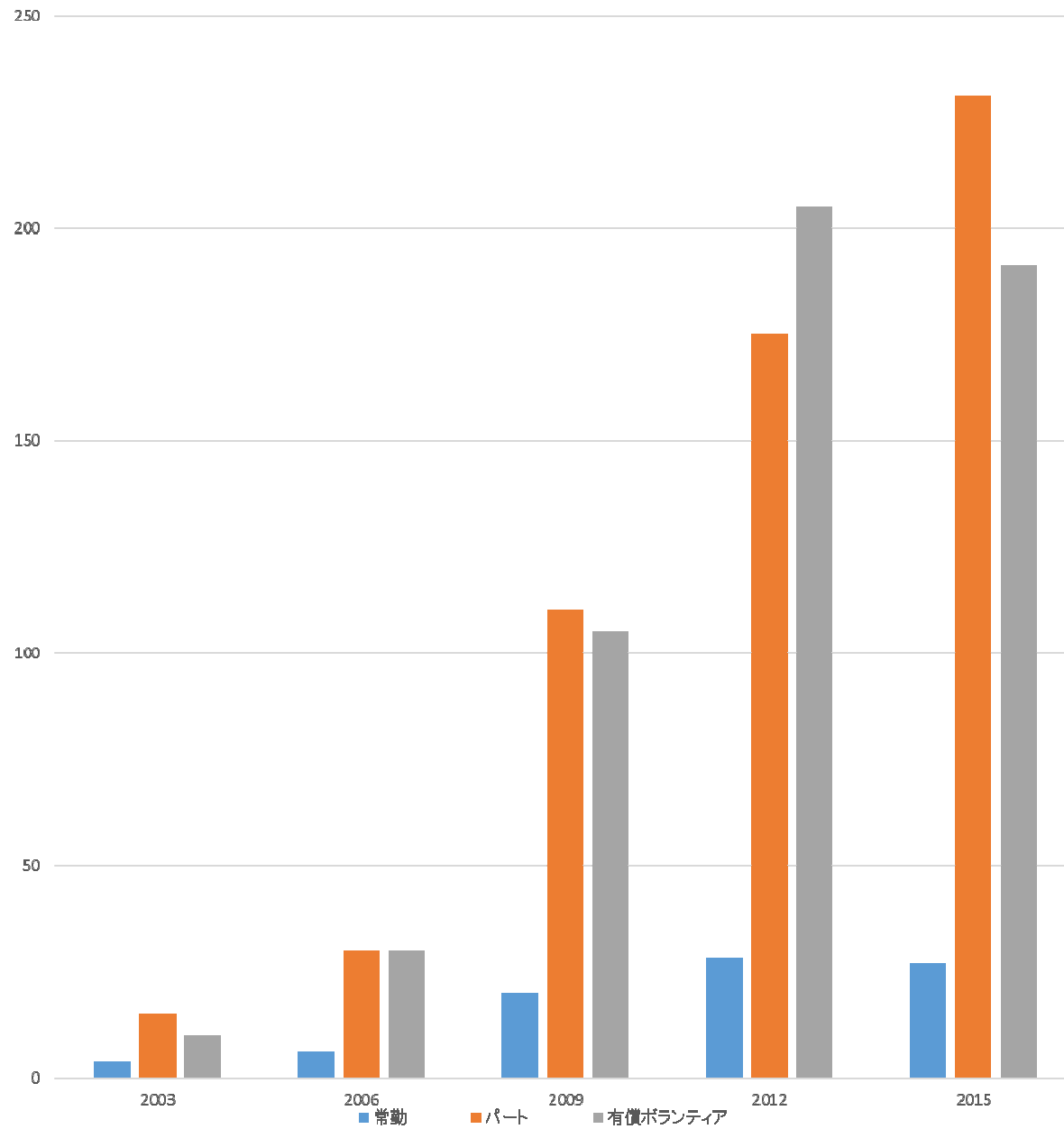
データで見る これまでの成果



来訪者
アーティスト



雇用



豪雪



ミエレル・レーダーマン・ユケレス「スノー・ワーカーズ・バレイ」(2006,2012)

豪雪



越後妻有2014冬
「Gift for Frozen Village 2014」高橋匡太と雪花火

縄文文化・先史時代の人の生活



越後妻有里山現代美術館[キナーレ] (2012-)

棚田

四月、輝く太陽。雪は消え、湿っぽい霧が空中を充たす。
ずんぐりした馬が、重い耕作用の鋤を懸命に引っ張る。
春のうちに、田んぼの準備を入念に。
新たな播種と種の植え付けのために。

照りつけ始める。
の面が、暁の光に光る。

暖まった大地に種を播いてゆく。
大地から濃く生い立っていくように。

五月の太陽の下に木々は芽吹き、田の水はぬるんで
大地から生えた茎は伸びてゆく。
植え付けられた植物が大地を着飾らせるように。
奇妙な木製の枠、トラックを転がして

玉のような汗が滴り落ちる。
なく棚田から棚田へと刈ってゆく。
しまわないように。

人影は見えないほどに、高く成長した稲穂。
九月。鎌をふるい、一粒も残さず収穫を取り込む時だ。
田から、重い束をやつとのことて運び去る。
十月までにはすっかり乾燥させ、脱穀するためだ。

棚田

香港チームの農業プロジェクト



棚田

▼ 奴奈川キャンパス

「農業をベースにした生きていくための知恵を学ぶ学校」

主要5科目以外の4教科

家庭科・体育・美術・音楽科を学ぶ



棚田

▼農：まつだい棚田バンク、越後妻有の林間学校



瀬替



磯辺行久「農舞楽回廊」

ダム

川それはキラキラしていて 宝石のよう
サラサラとして 風のように ヒトは安らぐ

川はときどき、人の命を簡単に奪ってしま
しかし、新しい命を産んだりもする。

オル・オギューベ 「いちばん長い川」(2000ー)

砂防ダム



長野県北部地震(2011.3.12)による崩落



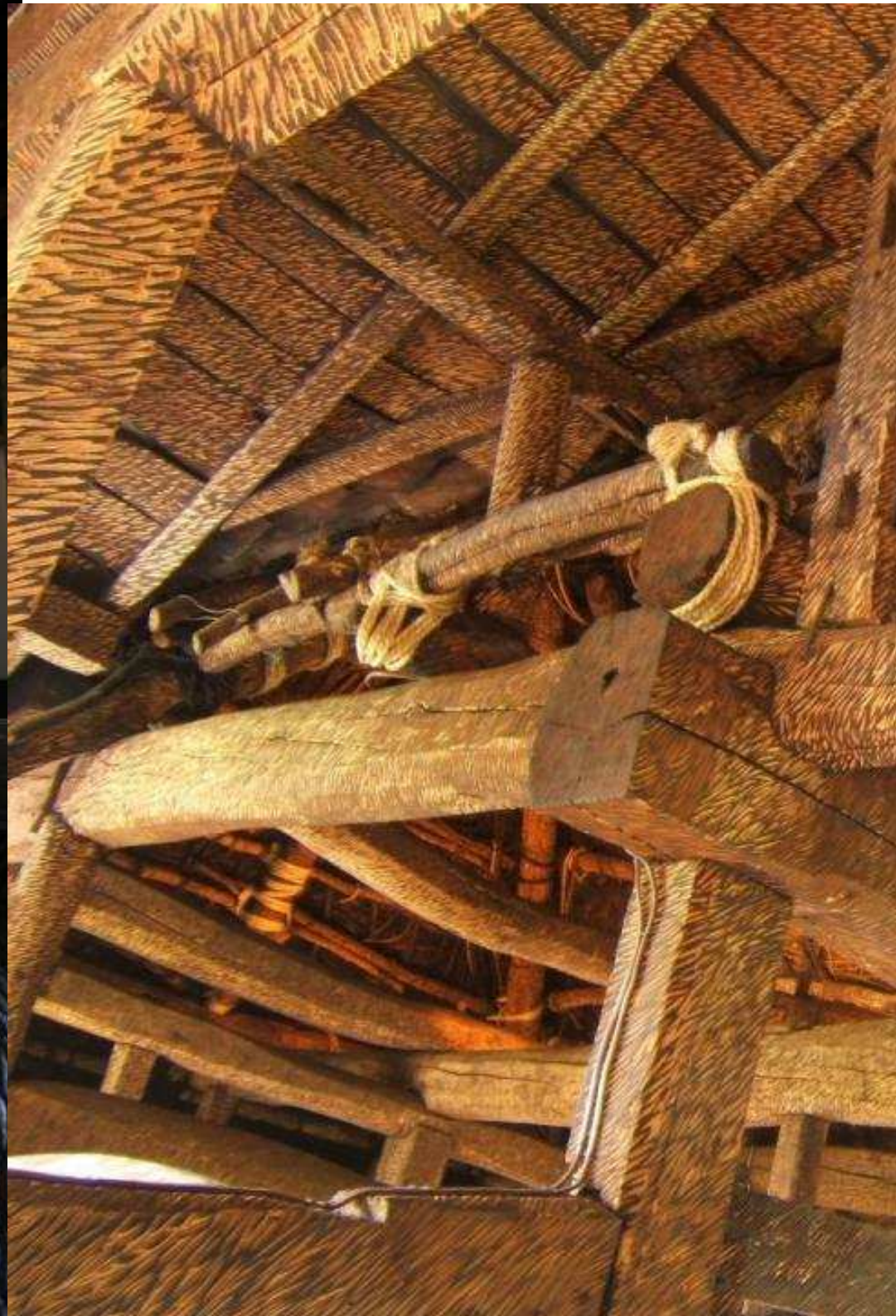
空家



「うぶすなの家」(2006ー)







廃校



クリスチャン・ボルタンスキ + ジャン・カルマン
「最後の教室」(2006ー)

廃校



田島 征三 「鉢 & 田島征三・絵本と木の実の美術館」(2009一)

廃校

ナウイン・ラワンチャイクン《赤倉の学堂》





瀬戸内国際芸術祭

芸術祭開催の背景

- 過疎高齢化の島を元気にし、今後の展望をつかむ
- 瀬戸内の資産目録をつくり、確認し、発信する
- アートサイト直島のブランドを活かし、地域の観光力を高める
- 瀬戸内海を地球環境時代における希望の場所とする
- サポーターこえび隊を媒介として、官民協働の仕組みを作る
- 美術・文化による地域づくりのモデルとして、世界的なネットワークを作る
- 芸術祭を契機として舟運、2次交通等のインフラを整備する

過疎高齢化

人口の推移(5年間の比較)

※各国勢調査より

	直島	豊島	女木島	男木島	小豆島	大島
平成17年 (2005)	3,476人	1,141人	212人	189人	33,668人	158人
平成22年 (2010)	3,277人	1,018人	174人	162人	31,180人	115人
減少率 (H22/H17)	94.3%	89.2%	82.1%	85.7%	92.6%	72.8%
	犬島	沙弥島	本島	高見島	栗島	伊吹島
平成17年 (2005)	65人	—	605人	73人	349人	793人
平成22年 (2010)	54人	—	492人	43人	289人	590人
減少率 (H22/H17)	83.1%	—	81.3%	58.9%	82.8%	74.4%

過疎高齢化

高齢化の推移(5年間の比較)

※各国勢調査より

	直島	豊島	女木島	男木島	小豆島	大島
平成17年 (2005)	27.9%	43.7%	57.1%	61.4%	—	—
平成22年 (2010)	30.0%	44.5%	66.7%	68.5%	—	—

	犬島	沙弥島	本島	高見島	栗島	伊吹島
平成17年 (2005)	—	—	48.1%	71.2%	72.2%	40.6%
平成22年 (2010)	—	—	55.1%	79.2%	76.5%	43.9%

※小豆島、大島、犬島、沙弥島については調査中

海の復権

1. アート・建築

2. 民俗・生活

－地域と時間と住民（島のお年寄たちの元気）

3. 交流

－日本全国・世界各地の人々に関わる

4. 世界の叡智が集う

5. 次代を担う若者や子どもたちへ

6. 縁をつくる

アート・建築



トビアス・レーベルガー

「あなたが愛するものは、あなたを泣かせもする(日本フランチャイズバージョン)」

民俗・生活-島のお年寄りたちの元気





民俗・生活-島のお年寄りたちの元気

交流

ー日本全国・世界各地の人々が関わる



Bangladesh・プロジェクト(2013)

世界の叡智が集う



次代を担う若者や子どもたちへ



県内の中学校 31校 約3000人 の生徒が参加



オニノコプロジェクト

縁をつくる

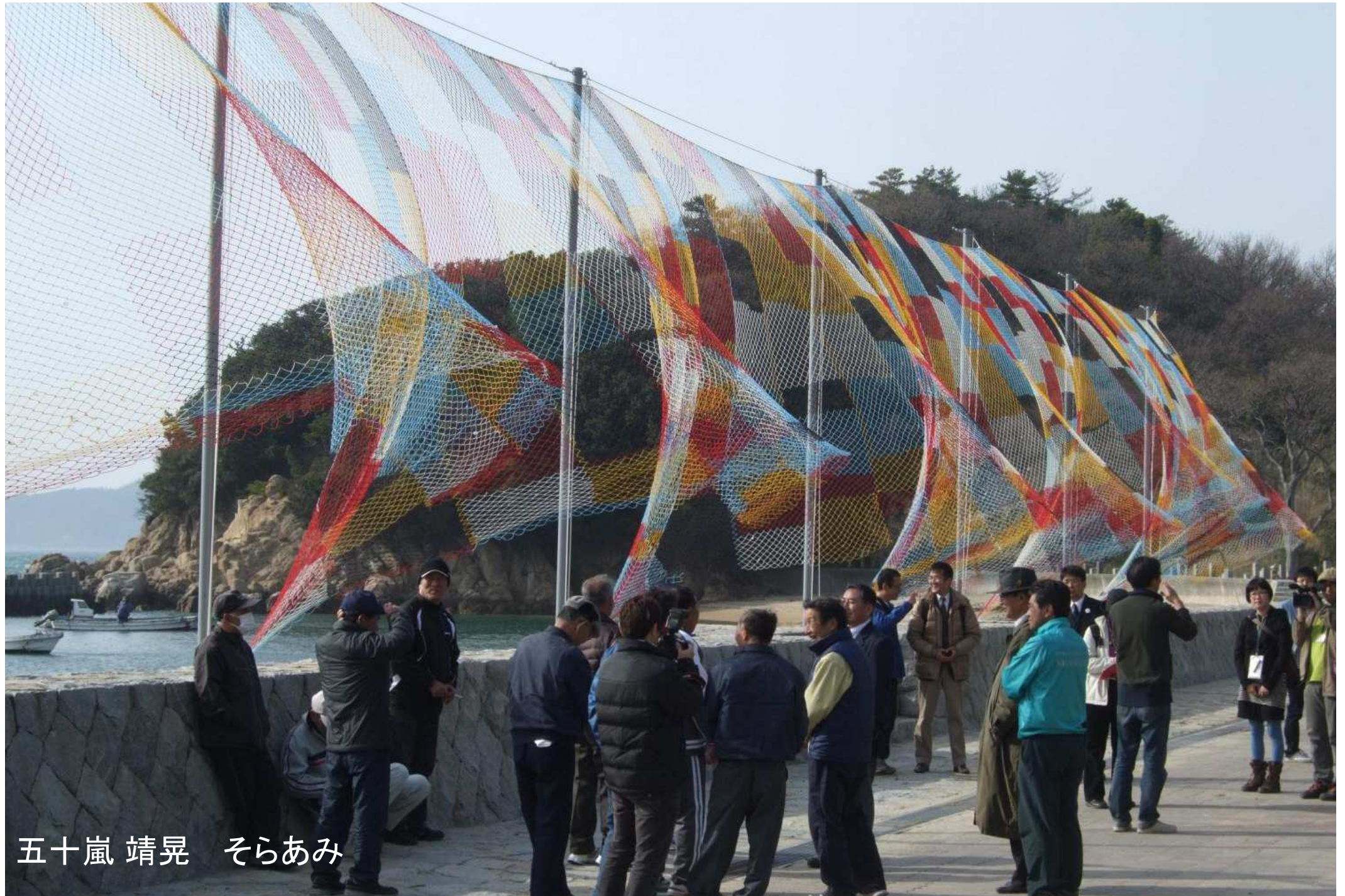


地元の方との協働作業

アート機能

1. 発見
2. 交流・理解
3. 協働
4. 人を現場に呼ぶ力

アート機能-交流・理解



五十嵐 靖晃 そらあみ

アート機能-協働



アートの機能-人を現場に呼ぶ力



	2013年	2010年
会期	春 _{3/20-4/21} ,夏 _{7/20-9/1} ,秋 _{10/5-11/4} 計108日間	7/20-10/31 計105日間
会場となる島	12島＋宇野＋高松	7島＋宇野＋高松
来場者数	約107万人	約93万人

芸術祭によって何がおきたか

1. 大島の取り組み
2. 島キッチンの展開
3. 男木小・中学校の再開

大島での取り組み



大島青松園

やさしい美術プロジェクト ”{つながりの家}カフェ・シヨル”





ラジオ番組づくり





こどもサマーキャンプ

安部良 「島キッチン」



「島キッチン」の展開

イベント



S E T O U C H I
T R I E N N A L E
2 0 1 6



島のお誕生会



男木小・中学校の再開



“昭和40年会 男木学校 PSS40” (2013)



男木小・中学校再開（2014年4月7日）
小学校には6年ぶりに児童4人、中学校には3年ぶりに生徒2人が通う

芸術祭会期中の 来場者アンケート調査より

	2013年	2010年
会 期	春 ^{3/20-4/21} , 夏 ^{7/20-9/1} , 秋 ^{10/5-11/4} 計108日間	7/20-10/31 計105日間
会場となる島	12島＋宇野＋高松	7島＋宇野＋高松
来場者数	約107万人	約93万人

来場者アンケート実施概要

2010年：芸術祭会場となる島から最寄りの港に向かう来場者を対象に調査。木～日の4日間を1セットとし、9月、10月にそれぞれ2回づつ、のべ16日間実施した。総計11,476枚の回答を回収。

2013年：芸術祭会場となる島から最寄りの港に向かう来場者を対象に調査。3/28～4/18(4/6,7を除く)、7/29～8/4、8/10～8/18、10/13～10/27の合計51日間実施した。総計17,297枚の回答を回収。

芸術祭会期中の 来場者アンケート調査より

2013年は、平均滞在日数が2日超え

	2013年	2010年
平均滞在日数	2.48日	1.96日
平均宿泊数	2.00日	1.94日

来場者アンケート実施概要

2010年：芸術祭会場となる島から最寄りの港に向かう来場者を対象に調査。木～日の4日間を1セットとし、9月、10月にそれぞれ2回づつ、のべ16日間実施した。総計11,476枚の回答を回収。

2013年：芸術祭会場となる島から最寄りの港に向かう来場者を対象に調査。3/28～4/18(4/6,7を除く)、7/29～8/4、8/10～8/18、10/13～10/27の合計51日間実施した。総計17,297枚の回答を回収。

芸術祭会期中の 来場者アンケート調査より

2013年は、2泊以上が4割超え

滞在状況	2013年	2010年
日帰り	25.8%	51.3%
1泊	28.3%	20.2%
2泊	27.6%	17.6%
3泊	11.4%	7.1%
それ以上	6.9%	3.8%

来場者アンケート実施概要

2010年：芸術祭会場となる島から最寄りの港に向かう来場者を対象に調査。木～日の4日間を1セットとし、9月、10月にそれぞれ2回づつ、のべ16日間実施した。総計11,476枚の回答を回収。

2013年：芸術祭会場となる島から最寄りの港に向かう来場者を対象に調査。3/28～4/18(4/6,7を除く)、7/29～8/4、8/10～8/18、10/13～10/27の合計51日間実施した。総計17,297枚の回答を回収。

芸術祭会期中の 来場者アンケート調査より

女性が7割、男性が3割

	2013年	2010年
男 性	32.5%	31.4%
女 性	67.5%	68.6%

来場者アンケート実施概要

2010年：芸術祭会場となる島から最寄りの港に向かう来場者を対象に調査。木～日の4日間を1セットとし、9月、10月にそれぞれ2回づつ、のべ16日間実施した。総計11,476枚の回答を回収。

2013年：芸術祭会場となる島から最寄りの港に向かう来場者を対象に調査。3/28～4/18(4/6,7を除く)、7/29～8/4、8/10～8/18、10/13～10/27の合計51日間実施した。総計17,297枚の回答を回収。